年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　国語　科目 論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（　1～7組：猪狩　）

使用教科書：（『精選　論理国語』　明治書院　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】　本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】　複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技法を身につける。	他者と伝え合う中で自分の考えを広げたり深めたりする。	論理的・批判的に考える力をつけるために読書に親しむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 「である」ことと「する」こと 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・近代から現代へ、どのように変化してきたかを考える ・推敲し共有する	○	○	○	【知識及び技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化し整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて吟味することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に語彙を習得している。	○	○	○	10
	B 石炭火力発電のゆくえ 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・語彙を豊かにする	○	○	○	【知識及び技能】 ・推論方法の理解を深められる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関連する文章や資料を基に書き手の立場や目的を考え理解を深められる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・同じ事柄について異なる論点を持つ複数の資料を進んで読み比べる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		○	○	○	1
	C 変われ！東京 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・文章の効果的な展開のしかたを学ぶ ・文章の要点を把握する	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論点を明確にしながら趣旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで言葉の働きについて理解を深めている。	○	○	○	6
	D 憲法への招待 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・情報を取り込み自己の発信に結び付ける ・「平等」とは何かについて考える	○	○	○	【知識及び技能】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・関連ある様々な資料を調べている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○	○	1
2学期	E 記号論への招待 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・文章の構造や展開のしかたを工夫する ・論理の明晰さを確認する	○	○	○	【知識及び技能】 ・新たな考えの構築に資する読書の意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的な視点から自身の考えを見直すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮説を立てて意見文を書いている。	○	○	○	7
	F 現代社会における物語 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・仮説を検証する ・関連する資料で裏付けを取る	○	○	○	【知識及び技能】 ・目的や意図に応じた情報を収集できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論理的な文章を評価する活動を通して、進んで推論について理解を深めている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○	○	1
	G 多様化するﾒﾃﾞｨｱﾂｰﾙと子ども 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・仮説する	○	○	○	【知識及び技能】 ・推論について理解を深め使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の妥当性や信頼性を吟味し、自分の立場や論点を明確にできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論述活動を通して、進んで自分と情報の関係の理解を深めている。	○	○	○	8
	H 私の個人主義 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。		○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉のさまざまな働きを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて吟味している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論理的な文章を批判的に検討している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○	○	1

3学期	I 歴史を哲学する 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	・語彙を豊かにする ・多面的に検討する	○	○	○	【知識及び技能】 ・語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の意図との関係において多面的な視点から評価できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで複数の文章を読み比べている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
									合計	
									70	

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　国語　科目 現代文

教　科：　国語　　科　目：　現代文　　単位数：　　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　5 組　7 組

教科担当者：（１組：本郷）（２組：小西）（３組：本郷）（４組：本郷）（５組：小西）（７組：小西）

使用教科書：（『言語文化』大修館書店　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】　本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】　複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目　現代文　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技法を身につける。	他者と伝え合う中で自分の考えを広げたり深めたりする。	論理的・批判的に考える力をつけるために読書に親しむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　言語文化への視点 【知識及び技能】 「論」と「例」の違いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の抽象的な意見・考えを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の主張を踏まえた上で、自身の主張を述べることができる。	・問題演習 「論」と「例」 ・「文字の深秘」		○	○	【知識及び技能】 ・推論方法の理解を深められる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関連する文章や資料を基に書き手の立場や目的を考え理解を深められる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	5
	B　言葉の紡ぐ世界 【知識及び技能】 登場人物の心情を、書いてあるとおりに忠実に読める。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を引き起こした原因を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな文章の読解に興味をもつ。	・問題演習 心情読解 ・「ゼイナブの指」	○		○	【知識及び技能】 ・語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の意図との関係において多面的な視点から評価できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで複数の文章を読み比べている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C　伝統と発展 【知識及び技能】 何と何が対比関係になっているのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 何と何が対比関係になっているのか、自身で書いて確認できる。	・問題演習 対比 ・「実体の美と状況の美」	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論点を明確にしながら趣旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで言葉の働きについて理解を深めている。	○	○	○	8
	D　表現の多様性 【知識及び技能】 言い換えに注目し、根拠を見つけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 抽象的な内容を具体化することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を積極的に理解しようとする。	・問題演習 具体と抽象 ・「良識派」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮説を立てて意見文を書いている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2学期	E　日本と世界 【知識及び技能】 具体的な物事によって、抽象的な概念や意味などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容・展開を叙述をもとに捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、抽象概念を具体的事物で表現しようとしている。	・問題演習 象徴性 ・「橋のたもとの老人」	○		○	【知識及び技能】 ・新たな考えの構築に資する読書の意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的な視点から作者の趣旨を読み取ろうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで言葉の働きについて理解を深めている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
		問題演習				【知識及び技能】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮説を立てて意見文を書いたり、要約文を書こうとしている。				12
	定期考査						○	○		1
3学期		入試問題演習				【知識及び技能】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮説を立てて意見文を書いたり、要約文を書こうとしている。				10
		入試問題演習				【知識及び技能】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮説を立てて意見文を書いたり、要約文を書こうとしている。				5
	定期考査						○	○		1
									合計	70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　国語　科目 古典探究

教　科：　国語　　科　目：　古典探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　5 組　7 組

教科担当者：（１組：小西）　（２組：小西）　（３組：小西）　（４組：山本愛）　（５組：小西）　（７組：山本愛）

使用教科書：（『精選　古典探究　古文編・漢文編』　明治書院　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】　本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】　複数の文章を比較して読み、熟意を持って自分の課題に取り組む。

科目　古典探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古文特有の表現や技法について理解を深める。	言語文化・古典探究で培った基礎力をもとに、幅広く古典としての古文・漢文を読む。	我が国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　説話 【知識及び技能】 古人の伝説や逸話について知識・理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品における古人の特徴について考える。	・指導事項 登場人物の行為の意味を考え、話し合いをする。 ・教材「常山紀談」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 基本古語、文法をブラッシュアップする。 【思考・判断・表現】 古文の文体に習熟し、内容を理解する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで古人の知恵や生き方に触れている。	○	○	○	5
	B　日記 【知識及び技能】 日記文学としての特徴を捉え、内容を理解し、文学史上での位置を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章および和歌を味読し、登場人物の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 平安時代の恋愛や婚姻制度について調べ、作者の置かれた状況について理解を深める。	・指導事項 登場人物の行為の意味を考え、話し合いをする。 ・教材「蜻蛉日記」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 文学史的位置を確認している。 【思考・判断・表現】 修辞技巧に留意して和歌の内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作者のものの見方、感じ方を読み取っている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C　評論 【知識及び技能】 詩歌の言葉の働きや本質などについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 和歌に関する評論を読み、作者の思想を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に表現される「言葉」と「心」の関係性について考えを深める。	・指導事項 登場人物の行為の意味を考え、話し合いをする。 ・教材「俊頼髄脳」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解している。 【思考・判断・表現】 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 和歌に関する評論を読み、詩歌の言葉の働きや本質などについて理解している。	○	○	○	8
	D　漢詩 【知識及び技能】 古体詩に用いられている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情景や作者の心情などを考え、漢詩を読み味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 どのような物語がそれぞれの漢詩の背景にあるか、想像する。	・指導事項 詩の描写から登場人物の境遇などを想像する。 ・教材「古体詩」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 漢詩を読むために必要な訓読のきまりについて理解している。 【思考・判断・表現】 漢詩特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢詩の背景にある物語を創作を通じて想像している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	E　物語 【知識及び技能】 作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の筋の展開や場面の状況、自然風景や作中人物の心理を読み味わい、ものの見方や感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 「源氏物語」の現代語訳を比較し、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。	・指導事項 既習の重要古語、文法事項の確認をする。 ・教材「源氏物語」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 作中和歌に込められた心情を読み取り、和歌と地の文とで表現される物語の構造を把握している。 【思考・判断・表現】 登場人物の考え方や感じ方を学び、自身の生き方にも通じるところがあるか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代語訳に関する感覚を意識的に磨いている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	F　史話・史伝 【知識及び技能】 漢文の特徴的な表現を学び、その効果を分析できる。 【思考力、表現力、判断力等】 内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 史書としての意味や人間存在の在り方について考える。	・指導事項 正確に音読し、要旨を的確にまとめさせる。 ・教材「史記」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 漢文を読むために必要な訓読のきまりについて理解している。 【思考・判断・表現】 漢文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 登場人物の行動において何が重要かを考えている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

３学期	E　物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作中の和歌漢詩の用いられ方に着目し、平安貴族の教養の背景について理解を深める。	・指導事項 　既習の重要古語、文法事項の確認をする。 ・教材「大鏡」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 作中和歌に込められた心情を読み取り、和歌と地の文とで表現される物語の構造を把握している。 【思考・判断・表現】 登場人物の考え方や感じ方を学び、自身の生き方にも通じるところがあるか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	○	○	○	10
	F　思想 【知識及び技能】 漢文の特徴的な表現を学び、その効果を分析できる。 【思考力、表現力、判断力等】 先人のものの見方、感じ方等との関わりの中で、多角的な視点から自身のものの見方・感じ方を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 思想家の立場に立ち、批評に反論する。	・指導事項 　正確に音読し、要旨を的確にまとめさせる。 ・教材「諸子百家」 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 漢文を読むために必要な訓読のきまりについて理解している。 【思考・判断・表現】 漢文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸子百家のどこが自分にとって魅力的であったか発表できる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　国語　科目 演習古典

教　科：　国語　　科　目：　演習古典　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組　　自由選択者

教科担当者：（　猪狩　）

使用教科書：（『精選　古典探究　古文編・漢文編』　明治書院　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】　本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】　複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目　演習古典　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学受験に対応した学力を身につける。	言語文化・古典探究で培った基礎力をもとに、幅広く古典としての古文を読む。	我が国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 源氏物語 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	古文を読み味わうための学力を身にるける。	【知識・技能】 ・基本古語、文法をブラッシュアップする。 【思考・判断・表現】 ・古文の文体に習熟し、内容を理解する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで古人の知恵や生き方に触れる。	○	○	○	8
	B 紫式部日記 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。			○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	C 源氏物語玉の小櫛 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	古文を読み味わうための学力を身にるける。	【知識・技能】 ・基本古語、文法をブラッシュアップする。 【思考・判断・表現】 ・古文の文体に習熟し、内容を理解する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで古人の知恵や生き方に触れる。	○	○	○	7
	D 枕草子 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。			○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2学期	E 大鏡 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	古文特有の表現や技法について理解を深める。	【知識・技能】 ・古文に表れるものの見方や感じ方を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・古文と和歌に表れた日本人の美意識について理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試の出題形式に慣れる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
	F 俊頼髄脳 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	古文特有の表現や技法について理解を深める。	【知識・技能】 ・古文に表れるものの見方や感じ方を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・古文と和歌に表れた日本人の美意識について理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試の出題形式に慣れる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3学期	G 古事記 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得する。 【思考力、表現力、判断力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。	古文特有の表現や技法について理解を深める。	【知識・技能】 ・古文に表れるものの見方や感じ方を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・古文と和歌に表れた日本人の美意識について理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試の出題形式に慣れる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
						合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用）　教科　地歴　科目　発展日本史探究

教　科：　地歴　　科　目：　発展日本史探究　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3　学年　1　組～　7　組

教科担当者：（1組：金子）（2,3,4,5,7組：伊藤伸）

使用教科書：（　山川出版社　『詳説日本史』　　）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　発展日本史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　〔日本文化のあけぼの〕 自然環境の変化が人びとの生活に与えた影響と適応、文化の形成を多面的・多角的に考察する。 B　〔古墳とヤマト政権〕 大陸との関係の中で国内の統一と整備が進んだことを理解する。	◆日本列島における自然環境の変化や朝鮮半島・中国大陸との関係、狩猟採集社会から農耕社会への移り変わりなどに着目して、旧石器時代から縄文文化、さらに弥生文化への変化がどのように起こったのかを考察する。 ◆朝鮮半島・中国大陸との関係に着目してヤマト政権による国家形成のありようを考察する。 ◆東アジアの国際的緊張の中で推古朝を中心に中央集権国家形成を目指す政策を進めたことを理解する。	【知識・技能】 ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 ・水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 中国の歴史書の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開について、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	C　〔律令国家への形成〕 律令にもとづく国内政治体制について理解する。 D　〔貴族政治の展開〕 大陸文化の消化と我が国独自の展開について政治・文化・経済面から考察する。	◆隋や唐などの中国王朝との関係と、日本の政治や文化への影響などに着目して、東アジアの情勢と政治や文化との関係、律令体制の成立過程などについて、前時代とのつながりや事象の推移・展開を考察する。 ◆東アジアとの関係の変化や地方社会の変化、文化との関係などに着目して、摂関政治の成立やそれ以前との政治の在り方の違いなどについて、推移や展開を考察する。	【知識・技能】 ・東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 ・藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 ・天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追求しようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2学期	E　〔院政と武士の躍進〕 古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 F　〔武家政権の成立〕 武家政権の成立過程と特徴を武士の生活と土地支配をふまえ理解する。	◆国内における権力主体の変化や東アジアとの関わりなどに着目して、院政期や平氏政権における政治および東国や奥州の動向などから武士の台頭とその背景、宋との交易などについて考察する。 ◆軍事政権である鎌倉幕府が御家人との封建的主従関係で成り立っていることを理解し、公武二元体制や幕府の貴族的性格に着目して、鎌倉時代初期の支配の在り方を考察する。	【知識・技能】 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 【思考・判断・表現】 ・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 ・幕府と朝廷との二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力を持つ勢力が複数存在したなど、中世の特色を追求しようとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	F　〔武家政権の成立〕 武家政権の成長と衰退の過程を考察し、公家との関係の変化、モンゴル襲来の影響など多角的に理解する。 G　〔武家社会の成長〕 武家社会の変容や東アジアの国際情勢の変化を理解する。	◆将軍独裁体制から合議制、さらに北条氏が権力を掌握する過程を理解し、幕府構造の変化を考察する。 ◆鎌倉時代の武士の生活を理解し、地頭による荘園侵略について、幕府・荘園領主・地頭の関係の中で考察する。 ◆東アジアの大きな動きの中でモンゴル襲来をとらえ、これを契機に幕府勢力が西国に浸透したことを理解する。 ◆鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移を考察する。	【知識・技能】 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・南北朝の動乱などに見られる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について多角的に考察している。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3学期	G　〔武家社会の成長〕 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことをふまえ、幕府の動揺や下剋上の風潮を理解する。	◆畿内中心に惣村と呼ばれる自治的村落が展開した背景や経緯を理解する。 ◆室町時代の社会経済を、農業・手工業・流通・商業・貨幣経済の相互連関の中で理解する。 ◆守護大名の権限強化の背景と国人一揆の形成を考察する。 ◆応仁の乱の背景と経過に着目し、支配層の分裂・弱体化と京都の荒廃を理解する。 ◆下剋上の風潮と戦国大名の分国経営のあり方を考察する。 ◆国際的な交易や外来の技術・思想に対し、我が国がどのように対応したのか考察する。	【知識・技能】 ・諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して、村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 ・経済の進展や各地の都市や村の発展、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 ・守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
						合計	140

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用）　教科　地歴　科目　発展世界史探究

教　科：地歴　科　目：発展世界史探究　単位数：4　単位

対象学年組：第 3 学年 2,3,4,5 組

教科担当者：（2,3,4,5組：山下）

使用教科書：（ 山川出版「高校世界史」 ）

教科　地歴　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　発展世界史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界史の基礎的知識を身に付ける。また、世界史を通じてメモリーツリーを作成し、重要事項をまとめる力を身に付ける。	歴史的知識を使い、多角的・多面的に考察する力を身に付ける。また、考察身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、自らの考えを表現する力を身に付ける。	人類が直面している世界的な課題について、よりよい社会の実現のために主体的に調査し、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。他者の意見に耳を傾け、新たに自身の考えを構築していける人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「なぜヨーロッパは19世紀に世界の覇権を握ったのだろうか」について自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して授業に取り組み、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。	・ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、科学革命を経て、ヨーロッパがアジアとの交易を通じて世界に拡大する流れを理解させる。 ・教科書、資料集、インターネットから情報を集め、まとめる力を養う。 ・一人１台端末を使用して、探究成果を発表する。	【知識・技能】授業時の小テストを通じて、各単元ごとの基本的な用語、年号、地理的知識を獲得しているか。 【思考・判断・表現】授業の内容をメモリーツリーにまとめることができたか。「なぜヨーロッパは19世紀に世界の覇権を握ったのだろうか」について自分の考えを表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習の際の積極性、意欲的に取り組み、課題解決に向けて努力することができたか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	B 産業革命と大西洋革命、欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「バイデン大統領がアメリカの価値観に絶対の自信をもっているのは何故なのだろうか」について自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して授業に取り組み、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。	・産業革命、環大西洋革命、ウィーン体制とヨーロッパの再編成、アメリカ合衆国の発展を通じて、ヨーロッパがどのように近代的スタンダードを形成していったかを理解させる。 ・教科書、資料集、インターネットから情報を集め、まとめる力を養う。	【知識・技能】授業時の小テストを通じて、各単元ごとの基本的な用語、年号、地理的知識を獲得しているか。 【思考・判断・表現】授業の内容をメモリーツリーにまとめることができたか。「バイデン大統領がアメリカの価値観に絶対の自信をもっているのは何故なのだろうか」について自分の考えを表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習の際の積極性、意欲的に取り組み、課題解決に向けて努力することができたか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2学期	C第一次世界大戦と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ２つの大戦についての基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「大衆の政治参加の進展は、理想の社会を実現したのだろうか？」について、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して授業に取り組み、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。	・アジア諸地域の動揺、帝国主義の進展、アジアの民族運動、第一次世界大戦、第二次世界大戦を通じて、アメリカや社会主義勢力の台頭など、世界がどのように変化したのかを理解させる。 ・教科書、資料集、インターネットから情報を集め、まとめる力を養う。	【知識・技能】授業時の小テストを通じて、各単元ごとの基本的な用語、年号、地理的知識を獲得しているか。 【思考・判断・表現】授業の内容をメモリーツリーにまとめることができたか。「大衆の政治参加の進展は、理想の社会を実現したのだろうか？」について自分の考えを表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習の際の積極性、意欲的に取り組み、課題解決に向けて努力することができたか。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	D冷戦と第三世界の台頭、冷戦の終結 【知識及び技能】 冷戦についての基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「アメリカの覇権がどのように確立されたのか、またどのように揺らいできたのか」について自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して授業に取り組み、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。	・米ソ対立、朝鮮戦争、冷戦、中東戦争、第三世界の台頭、ベトナム戦争などを通じて、現在の世界がどのように形成されたのかを理解させる。 ・教科書、資料集、インターネットから情報を集め、まとめる力を養う。	【知識・技能】授業時の小テストを通じて、各単元ごとの基本的な用語、年号、地理的知識を獲得しているか。 【思考・判断・表現】授業の内容をメモリーツリーにまとめることができたか。「アメリカの覇権がどのように確立されたのか、またどのように揺らいできたのか」について自分の考えを表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習の際の積極性、意欲的に取り組み、課題解決に向けて努力することができたか。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1

3学期	E今日の世界と現代文明の諸相 【知識及び技能】 冷戦後の現代社会についての基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「現代の諸課題」について自分で考察し、他者と共有することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して授業に取り組み、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。	・ジェンダー、資本主義、移民問題などを通じて、現代の諸課題を考察させる。 ・教科書、資料集、インターネットから情報を集め、まとめる力を養う。	【知識・技能】授業時の小テストを通じて、各単元ごとの基本的な用語、年号、地理的知識を獲得しているか。 【思考・判断・表現】授業の内容をメモリーツリーにまとめることができたか。「現代の諸課題」とどのように向き合うべきかについて、自分の考えを表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習の際の積極性、意欲的に取り組み、課題解決に向けて努力することができたか。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
							合計 140

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　公民　科目 政治・経済

教　科：公民　　科　目：政治・経済　　単位数：2　単位

対象学年組：第 3　学年　1,2,3,4,5,7　組

教科担当者：（1,2,3,4,5,7組：林）

使用教科書：（ 政治経済(東京書籍)　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　政治・経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 【知識及び技能】 経済活動の特徴，資本主義経済の成立と変容，社会主義経済と新自由主義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済の特徴に着目し，資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 経済活動の意義 資本主義経済の発展と変容 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・経済活動の特徴，資本主義経済の成立と変容，社会主義経済と新自由主義について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・資本主義経済の特徴に着目し，資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の資本主義経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 経済主体と経済の循環，企業の活動と社会的責任，市場経済の機能と限界，国民所得と経済成長，物価と国民生活，金融および財政のしくみと機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業，市場経済，国民所得，金融，財政などの観点に着目し，現代の経済はどのようなしくみで，どのような課題を抱えているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 1　経済主体と経済の循環 2　生産のしくみと企業 3　市場経済の機能と限界 4　国民所得と経済成長 5　金融のしくみと機能 6　財政のしくみと機能 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・経済主体と経済の循環，企業の活動と社会的責任，市場経済の機能と限界，国民所得と経済成長，物価と国民生活，金融および財政のしくみと機能について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・企業，市場経済，国民所得，金融，財政などの観点に着目し，現代の経済はどのようなしくみで，どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	C 単元 【知識及び技能】 戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の日本経済が抱える課題に着目しながら，戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 戦後日本経済の発展 日本経済の現状 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・戦後日本経済の発展と，日本経済の現状について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら，戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】 公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 公害と環境保全 農業・食料問題 中小企業の現状と課題 情報化の進展と社会の変化 消費者問題 雇用と労働問題 社会保障と福祉 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	E 単元 【知識及び技能】 自由貿易と国際分業，為替レートの変動，国際収支のしくみ，戦後国際経済体制の展開，南北問題や南南問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて，世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 貿易と国際収支 戦後国際経済体制の展開 発展途上国の経済 グローバル化する世界経済 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口・貧困・感染症 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2学期	A 単元 【知識及び技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 民主政治の成立 法と民主政治 基本的人権の確立 現代の民主政治 世界のおもな政治体制 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 日本国憲法の制定と基本原理 基本的人権の保障 平和主義 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国会，内閣，裁判所，地方自治それぞれで行われた改革に着目し，日本の政治機構にはどのような課題があり，どうすればそれを解決できるか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会，内閣，裁判所，地方自治それぞれで行われた改革に着目し，日本の政治機構にはどのような課題があり，どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な政策を通して，主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 戦後政治と政党 選挙と政治意識 世論と政治参加 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか，具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 国際社会の成立と主権国家，国際社会の秩序維持と国際法，国際連盟の成立と挫折，国際連合の役割と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会のさまざまな主体やルールに着目して，国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 国際政治の特質 国際社会と国際法 国際連合の役割と課題 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本，地域主義の動き，軍縮の動向と課題，地域紛争と難民問題，国際社会における日本の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して，国際対立や地域紛争を解決し，平和を実現するにはどうすればよいか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 戦後国際関係の展開と日本 冷戦後の国際関係と日本 地域主義の動き 軍縮の動向と課題 紛争・難民・テロリズム 国際社会における日本の役割 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 ・公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科 地歴 科目 演習日本史

教　科： 地歴　　科　目： 演習日本史　　単位数： 2　単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（金子）

使用教科書：（ 山川出版社 『詳説日本史』 ）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　演習日本史　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 近世の幕開け 【知識及び技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	・指導事項 １、織豊政権 ２、桃山文化 ３、問題演習 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	14
	B 幕藩体制の成立 【知識及び技能】 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 １、幕藩体制の成立 ２、幕藩社会の構造 ３、問題演習 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立の特色を理解する。 【思考・判断・表現】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	C 幕藩体制の展開 【知識及び技能】 支配秩序の形成と身分制、技術の向上と開発の進展、産業の発達、学問・文化の発展を基に、近世の社会・文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 １、幕政の安定 ２、経済の発展 ３、元禄文化 ４、問題演習 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 支配秩序の形成と身分制、技術の向上と開発の進展、産業の発達、学問・文化の発展を基に、近世の社会・文化の特色を理解する。 【思考・判断・表現】 交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 １、幕政の改革 ２、宝暦・天明期の文化 ３、幕府の衰退と近代への道 ４、問題演習 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 【思考・判断・表現】 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	D 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 １、化政文化 ２、問題演習 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 【思考・判断・表現】 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　地歴　科目 演習世界史

教　科：　地歴　　科　目：　演習世界史　　単位数：　2　　単位

対象学年組：第　3　学年

教科担当者：（山下）

使用教科書：（ 山川出版「高校世界史」　　）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　演習世界史　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界史の基礎的知識や図やグラフを読み取る技能を身に付け、受験に対応できる学力をつける。	タテの時間軸とヨコの空間軸を意識し、立体的に歴史を俯瞰できる思考力を身に付ける。また入試問題演習を通じて、基本的な知識を活用した判断力や表現力を身に付ける。	復習課題を通じて、自ら学ぶ習慣を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A インド史 【知識及び技能】基礎的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、知識を活用した思考力・判断力・証言力を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付ける。	・指導事項 インドの政治、経済、文化的な特徴を理解し、時代ごとの変化を理解させる。 ・教材 ＰＰＴやプリントを利用することで地理や重要ポイントを理解しやすくする。また、随時問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	10
	B 東南アジア史 【知識及び技能】基礎的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、知識を活用した思考力・判断力・証言力を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付ける。	・指導事項 東南アジアの政治、経済、文化的な特徴を理解し、時代ごとの変化を理解させる。 ・教材 ＰＰＴやプリントを利用することで地理や重要ポイントを理解しやすくする。また、随時問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	10
	Cヨーロッパ史 【知識及び技能】基礎的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、知識を活用した思考力・判断力・証言力を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付ける。	・主に、北欧・オランダ史を扱う。バルト海交易やアジア貿易への参入、植民地支配など、政治、経済、文化的な特徴を理解し、時代ごとの変化を理解させる。 ・ＰＰＴやプリントを利用することで地理や重要ポイントを理解しやすくする。また、随時問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2学期	A韓国史 【知識及び技能】基礎的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、知識を活用した思考力・判断力・証言力を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付ける。	・指導事項 東南アジアの政治、経済、文化的な特徴を理解し、時代ごとの変化を理解させる。 ・教材 ＰＰＴやプリントを利用することで地理や重要ポイントを理解しやすくする。また、随時問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	10
	Bラテン＝アメリカ史 【知識及び技能】基礎的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、知識を活用した思考力・判断力・証言力を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付ける。	・指導事項 東南アジアの政治、経済、文化的な特徴を理解し、時代ごとの変化を理解させる。 ・教材 ＰＰＴやプリントを利用することで地理や重要ポイントを理解しやすくする。また、随時問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	10
	Cアフリカ史 【知識及び技能】基礎的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、知識を活用した思考力・判断力・証言力を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付ける。	・指導事項 東南アジアの政治、経済、文化的な特徴を理解し、時代ごとの変化を理解させる。 ・教材 ＰＰＴやプリントを利用することで地理や重要ポイントを理解しやすくする。また、随時問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3学期	入試問題演習	・指導事項 基本的な知識の確認を行う。テーマ史を中心に取り上げ、既習事項を再確認する。 ・教材 共通テスト、私大の過去の入試問題を使用する。	【知識・技能】 基本的な知識が獲得できているか 【思考・判断・表現】 同時代の他の地域ではどのような出来事がおこっていたのかを考察し、既習知識とつなげて思考することができたか。また、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 復習課題に取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けることができているか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画　様式例

高等学校　令和６年度（３学年用）　　教科　公民　　科目　演習政治・経済

教　科：　公民　　科　目：　演習政治・経済　　単位数：　2　　単位

対象学年組：第　3　学年

教科担当者：（林）

使用教科書：（　政治経済(東京書籍)　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　演習政治・経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 【知識及び技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査	・指導項目 予想問題挑戦・問題解説		○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国会，内閣，裁判所，地方自治それぞれで行われた改革に着目し，日本の政治機構にはどのような課題があり，どうすればそれを解決できるか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会，内閣，裁判所，地方自治それぞれで行われた改革に着目し，日本の政治機構にはどのような課題があり，どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	D 単元 【知識及び技能】 政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な政策を通して，主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか，具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査	・指導項目 予想問題挑戦・問題解説		○	○		1

2学期	A 単元 【知識及び技能】 経済活動の特徴，資本主義経済の成立と変容，社会主義経済と新自由主義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済の特徴に着目し，資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・経済活動の特徴，資本主義経済の成立と変容，社会主義経済と新自由主義について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・資本主義経済の特徴に着目し，資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の資本主義経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 経済主体と経済の循環，企業の活動と社会的責任，市場経済の機能と限界，国民所得と経済成長，物価と国民生活，金融および財政のしくみと機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業，市場経済，国民所得，金融，財政などの観点に着目し，現代の経済はどのようなしくみで，どのような課題を抱えているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・経済主体と経済の循環，企業の活動と社会的責任，市場経済の機能と限界，国民所得と経済成長，物価と国民生活，金融および財政のしくみと機能について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・企業，市場経済，国民所得，金融，財政などの観点に着目し，現代の経済はどのようなしくみで，どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	C 単元 【知識及び技能】 戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の日本経済が抱える課題に着目しながら，戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・戦後日本経済の発展と，日本経済の現状について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら，戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査	・指導項目 予想問題挑戦・問題解説		○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】 公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	E 単元 【知識及び技能】 自由貿易と国際分業，為替レートの変動，国際収支のしくみ，戦後国際経済体制の展開，南北問題や南南問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて，世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 私立大学過去問題演習 ・教材 教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査	・指導項目 予想問題挑戦・問題解説		○	○		1

３学期	A 単元 【知識及び技能】 　国際社会の成立と主権国家，国際社会の秩序維持と国際法，国際連盟の成立と挫折，国際連合の役割と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　国際社会のさまざまな主体やルールに着目して，国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 　現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 　私立大学過去問題演習 ・教材 　教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・・国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 　第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本，地域主義の動き，軍縮の動向と課題，地域紛争と難民問題，国際社会における日本の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して，国際対立や地域紛争を解決し，平和を実現するにはどうすればよいか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 　現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決する手段を考えている。	・指導項目 　私立大学過去問題演習 ・教材 　教科書、プリント、問題集	【知識・技能】 ・公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査	・指導項目 　予想問題挑戦・問題解説		○	○		1
							合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　数学　　科目 数学Ⅰ・A　理系

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ・A　理系　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　7 組

教科担当者：（　6組：鈴木　　（　7組：鈴木

使用教科書：（ 新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ⅰ・A　理系　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 第1章　数と式 式と計算 【知識及び技能】 2次と3次の乗法公式及び因数分解の公式を使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 式を適切な形に変えようとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 整式のまとめ方について、展開と因数分解の定義 次数の下げ方とその利点など	【知識・技能】 2次と3次の乗法公式及び因数分解の公式を使うことができる。 【思考・判断・表現】 式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式を適切な形に変えようとしている。	○	○	○	9
	B 第1章　数と式 実数 【知識及び技能】 実数で簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数の拡張を知ろうとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 有理数、絶対値などの定義の確認 実数への拡張とその利点と必要性 循環小数の表し方 分母の有理化など、実数の変形	【知識・技能】 実数で簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考・判断・表現】 式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の拡張を知ろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	C 第1章　数と式 1次不等式 【知識及び技能】 不等式の性質、1次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式を解く方法を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1次不等式を問題解決に活用しようとする。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 1次不等式の解き方 連立不等式の解き方 絶対値を含む方程式・不等式の解き方	【知識・技能】 不等式の性質、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 1次不等式を解く方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1次不等式を問題解決に活用しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
2学期	D 第2章 集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な命題を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 条件から結論までの証明を理解しようとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 集合と要素の定義と表し方 命題と条件からその証明 対偶法と背理法による証明	【知識・技能】 集合と命題を理解している。 【思考・判断・表現】　簡単な命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 条件から結論までの証明を理解しようとしている。	○	○	○	15
	E 第3章 2次関数 【知識及び技能】 2次関数の値の変化、グラフの特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数学的に捉え、問題を解決しようとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 関数とグラフの基本 2次関数のグラフ（平方完成と平行移動）	【知識・技能】 2次関数の値の変化、グラフの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数学的に捉え、問題を解決しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	F 第3章 2次関数 【知識及び技能】 ２次関数の最大値や最小値を導くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数学的に捉え、問題を解決しようとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 2次関数の最大・最小の求め方 2次関数の決定 2次不等式の解き方	【知識・技能】 ２次関数の最大値や最小値を導くことができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数学的に捉え、問題を解決しようとしている。	○	○	○	10
	G 第4章　図形と計量 三角比の定義と拡張 【知識及び技能】 鋭角の三角比を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 要素間の関係を定理や公式として導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数学的に捉え問題を解決しようとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 三角比の定義 三角比の相互関係 正弦定理と余弦定理	【知識・技能】 鋭角の三角比を理解することができる。 【思考・判断・表現】 要素間の関係を定理や公式として導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数学的に捉え問題を解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

３学期	H 第5章　データの分析 データの値と仮説検定の考え方 【知識及び技能】 　データの代表値を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　データを収集、分析、特徴を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 　主張の妥当性を判断し、批判的に考察しようとしている。	・教材　新課程　リンク数学演習Ⅰ・A（数研出版） ・一人１台端末の活用 ・指導項目 　データの整理 　データの代表値 　分散と標準偏差 　仮説検定の考え方	【知識・技能】 　データの代表値を理解している。 【思考・判断・表現】 　データを収集、分析、特徴を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　主張の妥当性を判断し、批判的に考察しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							105

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　数学　　科目 数学Ｂ　理系

教　科：　数学　　科　目：　数学Ｂ　理系　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　7 組

教科担当者：（　6組：鈴木　　（　7組：佐村

使用教科書：（ 高等学校　数学Ｂ（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ｂ　理系　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第2章　統計的な推測 A 確率分布 【知識及び技能】 確率変数の期待値，分散，標準偏差を求めることができる 【思考力、判断力、表現力等】 確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率変数の期待値，分散に関する種々の公式を，その定義や既知の公式を用いて導こうとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積	【知識・技能】 確率変数の期待値，分散，標準偏差を求めることができる 【思考・判断・表現】 確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率変数の期待値，分散に関する種々の公式を，その定義や既知の公式を用いて導こうとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第2章　統計的な推測 B 二項分布、正規分布 【知識及び技能】 二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を，正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 正規分布の特徴を理解し，様々な視点からとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち，様々なデータについて考察しようとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 二項分布 正規分布	【知識・技能】 二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を，正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。 【思考・判断・表現】 正規分布の特徴を理解し，様々な視点からとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち，様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第2章　統計的な推測 C　母集団と標本 【知識及び技能】 標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し，正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 大数の法則について理解し，標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 大数の法則に興味をもち，標本の大きさnが大きくなるときの分布曲線の変化を，コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 母集団と標本 標本平均の分布	【知識・技能】 標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し，正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 大数の法則について理解し，標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大数の法則に興味をもち，標本の大きさnが大きくなるときの分布曲線の変化を，コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第2章　統計的な推測 D　推定、仮説検定 【知識及び技能】 仮説検定の考え方を用いて，日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮説検定の考え方がわかる。片側検定と両側検定の違いを理解し，どちらの検定をするか正しく判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち，現実の問題の解決に役立てようとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 推定 仮説検定	【知識・技能】 仮説検定の考え方を用いて，日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考・判断・表現】 仮説検定の考え方がわかる。片側検定と両側検定の違いを理解し，どちらの検定をするか正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち，現実の問題の解決に役立てようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第3章　数学と社会生活 【知識及び技能】 日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し，別の仮定を立てて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活における問題について，学んだ方法を積極的に活用し，主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 数学を活用した問題解決 社会の中にある数学 変化をとらえる～移動平均～	【知識・技能】 日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。 【思考・判断・表現】 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し，別の仮定を立てて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活における問題について，学んだ方法を積極的に活用し，主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計 35

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　数学　　科目 数学Ｃ　理系

教　科：　数学　　科　目：　数学Ｃ　理系　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　7 組

教科担当者：（　6組：鈴木　　（　7組：佐村

使用教科書：（ 高等学校　数学Ｃ（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ｃ　理系　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「平面上の曲線と複素数平面」の学習では，いろいろな表し方で事象を捉え考察に活用できるようにするために，二次曲線やサイクロイド曲線を媒介変数を用いた式で表したり，直交座標を極座標で表したりする技能を身に付けている。	「平面上の曲線と複素数平面」の学習では，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察できる。	日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 複素数平面 【知識及び技能】 ・複素数の和・差・実数倍の図表示の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現 ・複素数の和・差は点の平行移動や平行四辺形の頂点として表されることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複素数平面に関心をもち，複素数の図表示や絶対値および極形式について理解しようとする。	1　複素数平面	【知識・技能】 ・複素数の和・差・実数倍の図表示の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 ・複素数の和・差は点の平行移動や平行四辺形の頂点として表されることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数平面に関心をもち，複素数の図表示や絶対値および極形式について理解しようとする。	○	○	○	5
	B 複素数平面 【知識及び技能】 ・複素数を極形式で表すことができ，極形式による積や商を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ･極形式による複素数の乗法や除法の仕組みを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複素数の n 乗根の複素数平面上での配置について調べようとする。	2　複素数の極形式	【知識・技能】 ・複素数を極形式で表すことができ，極形式による積や商を理解している。 【思考・判断・表現】 ･極形式による複素数の乗法や除法の仕組みを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数の n 乗根の複素数平面上での配置について調べようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元 【知識及び技能】 ・複素数平面上の線分の分点を表す式や円の方程式，垂直二等分線の方程式を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ･複素数平面上の図形について，複素数の計算で調べたり，方程式の表す図形を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複素数の n 乗根の複素数平面上での配置について調べようとする。	3　ド・モアブルの定理 4　複素数と図形	【知識・技能】 ・複素数平面上の線分の分点を表す式や円の方程式，垂直二等分線の方程式を理解している。 【思考・判断・表現】 ･複素数平面上の図形について，複素数の計算で調べたり，方程式の表す図形を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数の n 乗根の複素数平面上での配置について調べようとする。	○	○	○	5
	D 平面上の曲線 【知識及び技能】 ・２次曲線の方程式から焦点，準線，軸，頂点を読み取れる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幾何学的な条件を方程式で表現し，その方程式を処理することで２次曲線の性質を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・２次曲線に興味・関心を示し，その方程式を求めようとする。	1　放物線 2　楕円	【知識・技能】 ・２次曲線の方程式から焦点，準線，軸，頂点を読み取れる。 【思考・判断・表現】 ・幾何学的な条件を方程式で表現し，その方程式を処理することで２次曲線の性質を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・２次曲線に興味・関心を示し，その方程式を求めようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

2学期	E 平面上の曲線 【知識及び技能】 ・２次曲線の平行移動を理解して，平行移動した後の方程式から焦点，準線，漸近線，軸などを求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲線の平行移動を方程式で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・２次曲線と平行移動の関係について興味・関心を示し，調べようとする。	3　双曲線 4　２次曲線の平行移動 5　２次曲線と直線	【知識・技能】 ・２次曲線の平行移動を理解して，平行移動した後の方程式から焦点，準線，漸近線，軸などを求められる。 【思考・判断・表現】 ・曲線の平行移動を方程式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・２次曲線と平行移動の関係について興味・関心を示し，調べようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	F 媒介変数表示と極座標 【知識及び技能】 ・ある条件を満たす点の軌跡を媒介変数表示できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・条件を満たす点の軌跡を媒介変数で表し，その特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コンピュータソフトを用いて，媒介変数表示された曲線を描いて理解しようとする。	1　媒介変数表示 2　極座標	【知識・技能】 ・ある条件を満たす点の軌跡を媒介変数表示できる。 【思考・判断・表現】 ・条件を満たす点の軌跡を媒介変数で表し，その特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータソフトを用いて，媒介変数表示された曲線を描いて理解しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	G 媒介変数表示と極座標 【知識及び技能】 ・極座標の意味や極座標と直交座標の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形を極座標の考え方や見方を用いて表現し，その特徴を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コンピュータソフトを用いて，極座標で示された点を描いて調べようとする。	3　極方程式 4　いろいろな曲線	【知識・技能】 ・極座標の意味や極座標と直交座標の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形を極座標の考え方や見方を用いて表現し，その特徴を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータソフトを用いて，極座標で示された点を描いて調べようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
							合計 35

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度(3学年用)　教科　　数学　　科目 数学Ⅲ

教　科：3　　科　目：　数学Ⅲ　　単位数：　6　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　　組

教科担当者：（６組：佐村　　）

使用教科書：（ 高等学校　数学Ⅲ（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ⅲ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅲにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察することができる。また，関数の連続性と微分可能性，関数のグラフの形状とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができる。さらに，微分法と積分法の関係を基に図形の面積や立体の体積，曲線の長さを求める方法を考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。 また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A １章　関数とグラフ 関数とグラフ 【知識及び技能】 ・分数関数の意味を理解し，グラフをかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無理関数の意味を理解し，そのグラフをかくことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・逆関数の意味を理解し，求めることができる。	1. 分数関数とそのグラフ 2. 無理関数とそのグラフ 3. 逆関数 4. 弧度法と三角関数のグラフ	【知識・技能】 ・分数関数の意味を理解し，グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ・無理関数の意味を理解し，そのグラフをかくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・逆関数の意味を理解し，求めることができる。	○	○	○	30
	B ４章　極限 数列の極限 【知識及び技能】 ・数列の各項を求めたり，一般項を求めたりすることができる。 ・収束，発散の考え方や極限値の性質を理解し，数列の極限を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式変形をくふうして，数列の極限を調べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・いろいろな数列の極限を調べようとしている。 ・無限等比級数の和を利用することの良さがわかる。	1. 無限数列と一般項 2. 数列の極限 3. 無限等比級数 4. 区分求積法	【知識・技能】 ・数列の各項を求めたり，一般項を求めたりすることができる。 ・収束，発散の考え方や極限値の性質を理解し，数列の極限を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・式変形をくふうして，数列の極限を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな数列の極限を調べようとしている。 ・無限等比級数の和を利用することの良さがわかる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	C 関数の極限 【知識及び技能】 ・いろいろな関数の極限値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・いろいろな関数の極限値について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・いろいろな関数の極限値を求めようとしている。	1. 関数の極限 2. いろいろな極限 3. 関数の極限と連続性	【知識・技能】 ・いろいろな関数の極限値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな関数の極限値について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな関数の極限値を求めようとしている。	○	○	○	30
	D 微分法 【知識及び技能】 ・分数関数や無理関数の微分係数を定義にしたがって求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・積や商の微分法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積や商の微分法の式を使って，関数を微分することの良さがわかる。	1. 微分係数 2. 導関数 3. 積・商の微分法 4. 合成関数の微分法	【知識・技能】 ・分数関数や無理関数の微分係数を定義にしたがって求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・積や商の微分法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積や商の微分法の式を使って，関数を微分することの良さがわかる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	1

2学期	E 微分法の応用 【知識及び技能】 ・接線の方程式を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・y'と関数の増減，極値の関係，y''と曲線の凹凸の関係について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・関数の増減や極値，曲線の凹凸や変曲点が，微分法を用いて調べられることで，グラフの概形がかけることの良さがわかる。	1. 接線の方程式 2. 関数の増加・減少と極値 3. 曲線の凹凸 4. 速度・加速度	【知識・技能】 ・接線の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・y'と関数の増減，極値の関係，y''と曲線の凹凸の関係について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関数の増減や極値，曲線の凹凸や変曲点が，微分法を用いて調べられることで，グラフの概形がかけることの良さがわかる。	○	○	○	50
	定期考査			○	○	○	1
	F 積分法 【知識及び技能】 ・三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不定積分は微分の逆演算として考えられることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・いろいろな関数の不定積分を求めようとしている。	1. 不定積分と基本公式 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな不定積分	【知識・技能】 ・三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・不定積分は微分の逆演算として考えられることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな関数の不定積分を求めようとしている。	○	○	○	50
	定期考査			○	○	○	1
3学期	G 定積分 【知識及び技能】 ・定積分を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2倍角の公式を利用して定積分を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・いろいろな定積分を求めようとしている。	1. 定積分 2. 定積分の置換積分法・部分積分法	【知識・技能】 ・定積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2倍角の公式を利用して定積分を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな定積分を求めようとしている。	○	○	○	45
	定期考査			○	○	○	1
							合計 210

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（3学年用） 教科　数学　　科目 演習数学

教　科：　数学　　科　目：　演習数学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　7 組

教科担当者：（6組：田草川　）　（7組：田草川　）

使用教科書：（ リンク　数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　演習数学　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 第1章【式と証明】 【知識及び技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解している。 B 第2章【複素数と方程式】 【知識及び技能】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数についての理解を深め，方程式を解こうとする。	式と証明 複素数と方程式	【知識・技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考・判断・表現】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解している。 【知識・技能】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複素数についての理解を深め，方程式を解こうとする。	○	○	○	10
	C 第4章【三角関数】 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張して，計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。 E 第5章【指数関数と対数関数】 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとしている。	三角関数 指数関数・対数関数	【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張して，計算することができる。 【思考・判断・表現】 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。 【知識・技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考・判断・表現】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	F 第6章【微分法と積分法】 【知識及び技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとしている。	微分法と積分法	【知識・技能】 授業時間内考査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内考査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内考査による。	○	○	○	10
	第1章【数列】 A第１節　等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】基本的な数列として等差数列を理解し，それらの和を求められる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。 第１節　ベクトルとその演算 【知識及び技能】 向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し，成分表示も含めてベクトルの演算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの内積について理解し，平面上のベクトルのなす角について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	数列 ベクトル	【知識・技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考・判断・表現】基本的な数列として等差数列を理解し，それらの和を求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。 【知識・技能】 向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し，成分表示も含めてベクトルの演算ができる。 【思考・判断・表現】 ベクトルの内積について理解し，平面上のベクトルのなす角について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

2学期	A 第1章【式と証明】 【知識及び技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解している。 B 第2章【複素数と方程式】 【知識及び技能】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数についての理解を深め，方程式を解こうとする。 C 第4章【三角関数】 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張して，計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。 E 第5章【指数関数と対数関数】 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとしている。	式と証明 複素数と方程式 三角関数 指数関数・対数関数	【知識・技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考・判断・表現】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解している。 【知識・技能】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複素数についての理解を深め，方程式を解こうとする。 【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張して，計算することができる。 【思考・判断・表現】 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。 【知識・技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考・判断・表現】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	F 第6章【微分法と積分法】 【知識及び技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとしている。 F 第6章【微分法と積分法】 【知識及び技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとしている。	微分法と積分法 数列 ベクトル	【知識・技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考・判断・表現】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとしている。 【知識・技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考・判断・表現】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3学期	【知識及び技能】 入試問題を解ける力を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な解答方法を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組んでいる	入試問題演習	【知識・技能】 入試問題を解ける力を身につける 【思考・判断・表現】 効率的な解答方法を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組んでいる	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 6 組～ 7 組

教科担当者：（6・7組：岡本）

使用教科書：（ 実教出版 生物 ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物に関する概念や現象、法則性を理解する。	実験・観察を通して、生物を探究する方法や考察力を養う。	レポートの作成を通じて、生命を探究する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A生物の進化 【知識・技能】 ・生命の誕生に関する仮説について理解している。 【思考・判断・表現】 ・地質時代における生物の変遷を、化石にもとに考察し、環境の変化との関連を探究できる。また、霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現生種についての生物分布などの資料から進化の証拠を理解し、進化説の理解を深めようとする。	・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化のしくみ ・生物の系統と進化	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
	B生命現象と物質 【知識・技能】 ・タンパク質の基本的な構造や性質についての学習を手がかりとして、酵素作用や免疫現象や筋収縮などが、タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物体にみられる様々な働きが、酵素による触媒作用をはじめとした、タンパク質の多様性および特異性に基づいていることを科学的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分子レベルでの生物現象の把握を主な目的として、タンパク質や核酸などの有機化合物の多様な働きが生物現象の基本になっていることを理解しようとする。	・細胞と分子 ・生命現象とタンパク質 ・代謝	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
2学期	C遺伝情報の発現と発生 【知識・技能】 ・動物の配偶子のでき方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・生殖細胞がつくられる過程と意義を科学的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヒトとの共通点のあるカエルについて学習し、形態形成運動や誘導などの働きによって複雑なからだのつくりができあがっていく過程を理解しようとする。	・遺伝情報とその発現 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	D生物の環境応答 【知識・技能】 ・神経の構造と興奮の発生・伝導・伝達の関係の学習から、動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。 【思考・判断・表現】 ・各受容器の構造と機能との関係、興奮の伝導や伝達のしくみ、興奮の神経における伝達経路について、整理して述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・動物は環境の変化を受容する受容器をもつとともに、神経系など生物体のもつ巧みな制御機構や調節のしくみによって、安定した内部環境を維持していることを意欲的に理解し、探究しようとする。	・動物の反応 ・動物の行動 ・植物の成長と環境応答	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3学期	E生態と環境 【知識・技能】 ・生物の集団を個体群としてとらえ、そこにみられる現象や法則性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物は生物集団として、無機的環境やほかの生物集団とのあいだでさまざまな関係をもちながら生活していることを理解することによって、環境と生物の関係を総合的にとらえようとする。	・個体群と生物群集 ・生態系 □	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
						合計	140

年間授業計画 新様式

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 演習生物基礎

教 科： 理科 科 目： 演習生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 6 組～ 7 組

教科担当者：（6・7組：岡本）

使用教科書：（ 数研出版 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目 演習生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
問題演習を通して、基礎的な内容を定着させる。	実験考察問題など、大学受験に対応できる実践的な能力を身に付ける。	生命現象の本質をとらえ、生物を探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A生物と遺伝子 【知識・技能】 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっており、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	「生物の特徴」に関する、教科書と副教材を活用した問題演習及び実験。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	A生物と遺伝子 【知識・技能】 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっており、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	「遺伝子とその働き」に関する、教科書と副教材を活用した問題演習及び実験。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期	Bヒトのからだの調節 【知識・技能】 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	「神経系と内分泌系による調節」に関する、教科書と副教材を活用した問題演習及び実験。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	Bヒトのからだの調節 【知識・技能】 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	「免疫」に関する、教科書と副教材を活用した問題演習及び実験。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3学期	C生物の多様性と生態系 【知識・技能】 ・地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。	「植生と遷移」、「生態系とその保全」に関する、教科書と副教材を活用した問題演習及び実験。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
							合計
							70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　　理科　　科目 物理（特進）

教　科：　理科　　科　目：　物理（特進）　　単位数：　6　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　　組

教科担当者：（6組：小河原　）

使用教科書：（ 啓林館　物基703　高等学校 物理　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目　物理（特進）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や環境に関する考え方を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A物体の運動 【知識・技能】 運動する物体の運動について理解させる。 物体のつり合いを理解させる。 【思考・判断・表現】 物体の変位や速度などを考えたり，x-tグラフやv-tグラフから物体の運動を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 物体の運動 平面内の運動 落体の運動 剛体のつり合い 運動量の保存 衝突と力学的エネルギー 円運動 慣性力 単振動 万有引力 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 運動状態を説明できる。 【思考・判断・表現】 平面内や落下運動つり合いでの物体の運動について調べようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	45
	定期考査			○	○		1
	B気体の運動 C波の性質 【知識・技能】 気体分子の運動と圧力の関係について理解させる。 波の基本を理解させる。 【思考・判断・表現】 気体の状態変化における熱，仕事及び内部エネルギーの関係を理解させる。 波について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 気体の状態方程式 気体分子の熱運動 熱力学第1法則 気体の状態変化と熱･仕事 波の性質 正弦波の表し方 波の伝わり方 音 音の性質 ドップラー効果 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 気体の状態変化と熱・仕事の関係について説明できる。 波について説明できる。 【思考・判断・表現】 気体の状態変化におけるエネルギーの移動を考えることができる。 波の性質と法則について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1

2学期	D光と電気 【知識・技能】 光の性質について理解させる。 電気の種類と性質について理解させる。 【思考・判断・表現】 幾何光学的な性質について考えることができる。 電流の性質を理解し，電力と熱の関係について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 光 光の性質 レンズと球面鏡 光の回折と干渉 電気と磁気 電界と電位(12) 静電気 電　界 電　位 コンデンサー 電　流 電　流 直流回路 半導体 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 光の波としての性質について説明できる。 静電誘導の実験観察を行い，電気の性質を調べることができる。 【思考・判断・表現】 光の反射，屈折，分散，偏光といった現象や，光の波長や速さについて考えることができる。 電流の性質を理解し，電力と熱の関係について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	54
	定期考査			○	○		1
	E電流と磁界 【知識・技能】 電気の種類と性質について説明できる。 電流どうしにはたらく力の実験を行い，力，磁界，電流の向きに関する規則性を調べることができる。 【思考・判断・表現】 磁気力と磁界の関係とついて考えることができる。 電磁誘導の法則と誘導起電力の性質について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 電流と磁界 磁気力と磁界 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 電磁誘導と電磁波 電磁誘導の法則 磁界中を運動する導体棒 自己誘導と相互誘導 交　流 電気振動と電磁波 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 身の回りのもので，電流が磁界から受ける力を利用したものについて調べようとする。自己誘導の実験を行い，電流の流れる向きが変わることを調べようとする。 【思考・判断・表現】 自己誘導，相互誘導の法則やコイルの性質について考えることができる。電界の性質と電気力線ついて， 磁界や磁力線に類似していることを見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3学期	F原子･原子核･素粒子 【知識・技能】 電子の電荷と質量について理解させる。 光の波動性について理解させる。 素粒子の存在と宇宙について理解させる。 【思考・判断・表現】 光の吸収による黒い炎の観察実験を行い，結果をまとめることができる。 素粒子の種類，その性質や基本的な力について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 原子･分子の世界 電子と光 電子の電荷と質量 光の粒子性 X線 粒子の波動性 原子･原子核･素粒子 原子モデル 原子核と放射線 核反応と核エネルギー 素粒子と宇宙 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 原子モデルと水素原子の構造，原子の発光と定常状態でのエネルギー順位について，さまざまな原子モデルを用いて考えることができる。素粒子の種類や性質，および宇宙の始まりとの関係を考えることができる。 【思考・判断・表現】 原子核と放射線の関係や，放射線の性質について興味を持ち，調べようとする。 核エネルギーや原子力の利用について興味を持ち，調べようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	43
	定期考査			○	○		1
							合計 210

年間授業計画　新様式

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　理科　科目 演習物理基礎

教　科：　理科　　科　目：　演習物理基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　6 組～　　組

教科担当者：（6組：小河原　）

使用教科書：（ 啓林館　物基７０５　高等学校 物理基礎　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目　演習物理基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や環境に関する考え方を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A物体の運動 【知識・技能】 物体の運動の基本的な表し方について，直線運動を中心に理解させる。 【思考・判断・表現】 物体の変位や速度などを考えたり，x-tグラフやv-tグラフから物体の運動を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 速度 加速度 落体の運動の進学用演習 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 物体の加速度や加速度運動を理解することができる。 【思考・判断・表現】 物体による速度の変化の様子に興味を持ち，その違いについて調べようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。 ・演習問題を解き応用問題に挑戦している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	B力と運動 【知識・技能】 様々な力がはたらくときの物体の運動を理解させる。 【思考・判断・表現】 摩擦力や浮力，圧力など物体にはたらく様々な力と，その作用による物体の運動がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 力 運動の法則 様々な力と運動の進学用演習 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 物体の質量や物体にはたらく力を変えて物体の運動を調べ，運動の様子をグラフに表すことができる。 【思考・判断・表現】 力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し，グラフを作成して運動方程式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。 ・演習問題を解き応用問題に挑戦している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2学期	C仕事とエネルギー 【知識・技能】 仕事，仕事の原理，仕事率という基本的な概念から，力学的な仕事を計算する方法がわかる。 【思考・判断・表現】 仕事・仕事の原理，仕事率に関して，計算式を利用し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存の進学用演習 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 保存力が仕事をするとき，物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することで，力学的エネルギーが保存されることがわかる。 【思考・判断・表現】 物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することと，それらの和が一定に保たれることを，力学的エネルギー保存の法則として確認している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。 ・演習問題を解き応用問題に挑戦している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	D熱とエネルギー E波の性質 F音の性質 【知識・技能】 熱による物質の変化を理解することができる。 波の性質について，直線状に伝わる場合を中心に理解させる。 弦の振動と気柱の振動などを通して，共鳴・共振のような現象が起こる原理がわかる。 【思考・判断・表現】 熱とエネルギーを関連づけて考えることができる。 波形の移動における周波数や位相について説明することができ，媒質の振動を関連づけて考えることができる。 音源の振動による現象について，弦や気柱の性質と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 熱と温度 熱量 熱の利用 波の伝わり方 波の性質 音波の性質 音源の振動の進学用演習 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 熱から仕事への転化を，熱機関に関連づけて理解することができる。 波の性質を理解することができる。 音波と音の三要素などの性質と，可聴音や超音波についてわかる。 【思考・判断・表現】 熱運動のエネルギーと仕事を関連づけ，エネルギー変換の熱機関への応用を考えることができる。 波がエネルギーと情報を運ぶことについて考えることができる。 音波の性質と様々な音について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。 ・演習問題を解き応用問題に挑戦している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	G電気と磁気 【知識・技能】 静電気と電子，電荷と電気量についてわかる。 電磁誘導と発電機のしくみについて理解させる。 【思考・判断・表現】 導体，半導体，絶縁体について説明することができ，半導体の応用技術について考えることができる。 電流と磁力を関連づけて，電磁誘導による発電機の原理を理解し，考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 静電気 電流 電磁誘導と発電機 交流と電磁波の進学用演習 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 導体，絶縁体，半導体と，半導体を応用した技術についてわかるかる。 静電気と電子を関連づけ，電荷と電気量について考えることができる。 磁気と電流の種類を確認し，交流を整流に変換するしくみがわかる。 【思考・判断・表現】 オームの法則と様々な抵抗の接続や合成抵抗，電流の熱作用との関係についてわかる。 電流，電圧，電気抵抗の関係について導線内の自由電子の動きと，発生する熱に関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。 ・演習問題を解き応用問題に挑戦している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科 理科 科目 発展化学

教 科： 理科　　科 目： 発展化学　　単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 6 組 ・ 7 組

教科担当者：（ ６組７組：田中 ）

使用教科書：（ 「化学」啓林館 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的調査方法を身に付ける。

科目 発展化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質や物質現象 についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質や物質が変化する現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた 結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質や物質が変化する現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 第２部 物質の変化と平衡 第1節 ・化学平衡とその移動 を理解させ B 第２節 ・電離平衡 を理解させる	可逆反応 平衡移動の法則 ルシャトリエの原理 化学平衡の法則 平衡定数 圧平衡定数 化学平衡と工業 ハーバーボッシュ法 電離平衡 水のイオン積 水素イオン濃度 ｐH 電離度 弱酸・弱塩基 電離定数 塩の加水分解 緩衝液とｐH	【知識・技能】 化学平衡の原理と，それぞれの法則について理解することができる。 【思考・判断・表現】 平衡の移動の条件(濃度，温度，圧力など)について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによ	○	○	○	28
	C 第２節 ・電離平衡（つづき） D 第３部 無機物質 第１節 ・周期表の元素の分類 E 第２節 ・水素と貴ガス ・ハロゲン ・ハロゲンの化合物 を理解させる	溶解平衡 溶解度積 共通イオン効果 典型元素と遷移元素 金属元素と非金属元素 水素 貴ガス ハロゲン単体 単体の反応 ハロゲン化水素 ハロゲン化銀	【知識・技能】 典型元素と遷移元素のちがいについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 物質の性質（単体，化合物など)について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	F 第３節 ・酸素・硫黄 G 第４節 ・窒素・リン H 第５節 ・炭素・ケイ素 を理解させる	水素 貴ガス ハロゲン単体 単体の反応 ハロゲン化水素 ハロゲン化銀 酸素の単体 酸素の化合物 硫黄の単体 硫黄の化合物 窒素の単体と化合物 オストワルト法 リンの単体と化合物 炭素の単体と化合物 ケイ素の単体と化合物	【知識・技能】 各物質（無機各論）について理解することができる。 【思考・判断・表現】 同族元素や電子配置の共通点について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	28
	I 第６節 典型金属元素 ・アルカリ金属 ・アルカリ土類金属 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ・すず・鉛 J 第７節 遷移元素 ・遷移元素 ・錯イオン ・金属イオンの分離と確認 を理解させる	アルカリ金属の単体 アルカリ金属の化合物 アンモニアソーダ法 遷移元素の特徴 錯イオンの形・色 亜鉛 銅 銀 鉄 クロムとマンガン 陰イオンとの反応 沈殿の分離と確認	【知識・技能】 典型金属・遷移金属元素について理解することができる。 【思考・判断・表現】 錯イオンの形や色について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
2学期	K 第４部 有機化合物 第１章 有機化合物の特徴 第１節 有機化合物の特徴と分類 ・有機化合物の特徴 ・炭化水素の分類 ・基と官能基による分類 ・異性体 L 第２節 有機化合物の分析 ・成分元素の検出 ・構造式決定 ・組成式・分子式・構造式 を理解させる M 第２章 脂肪族炭化水素 第１節 飽和炭化水素 ・アルカン N 第２節 不飽和炭化水素 ・アルケン ・アルキン を理解させる	有機化合物と無機化合物 有機化合物の特徴 官能基 異性体 元素分析 水酸基 カルボニル基 アルデヒド基 カルボキシ基 エーテル結合 エステル結合 他 アルカン アルカンとファンデルワールス力 置換反応 シクロアルカン アルケンの製法 付加反応 付加重合 アルケンの酸化 アルキンの構造 アセチレン 重合反応	【知識・技能】 有機化合物について理解することができる。 【思考・判断・表現】 分類の条件について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	O 第３章 酸素を含む脂肪族炭化水素 第１節 アルコールとエーテル ・アルコール ・エーテル P 第２節 アルデヒド・ケトン ・アルデヒド ・ケトン Q 第３節 カルボン酸 ・カルボン酸 ・鏡像異性体 R 第４節 エステルと油脂 ・エステル ・油脂とせっけん S 第４章 芳香族化合物 第１節 芳香族炭化水素 ・ベンゼン T 第２節 酸素を含む芳香族化合物 ・フェノール類 ・芳香族カルボン酸 U 第３節 窒素を含む芳香族化合物 ・芳香族アミン を理解させる	メタノール エタノール プロパノール ジエチルエーテル 級数による分類 価数による分類 アルデヒドの還元性 ホルムアルデヒド アセトアルデヒド 銀鏡反応 ヨードホルム反応 酢酸 無水酢酸 マレイン酸 フマル酸 アジピン酸 ギ酸 エステル結合 酢酸エチル けん化 油脂 けん化価 ヨウ素価 せっけん ベンゼン トルエン キシレン 置換反応 ハロゲン化 ニトロ化 スルホン化 付加反応 フェノール クレゾール 安息香酸 サリチル酸 アニリン	【知識・技能】 脂肪族と，それぞれの性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 官能基について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3学期	V 第５部 高分子化合物 第１章 高分子 第１節 高分子化合物の分類と特徴 ・分類 W 第２章 天然高分子化合物 第１節 糖類 ・分類 X 第２節 タンパク質 ・アミノ酸 ・タンパク質 Y 第３章 合成高分子化合物 第１節 高分子化合物の合成 ・重合 Z 第２節 合成繊維 ・付加重合・縮合重合・開環重合 第３節 合成樹脂 ・プラスチック・ゴム を理解させる	重合度 平均分子量 単糖類 二糖類 多糖類 双性イオン ニンヒドリン反応 ペプチド結合 ビウレット反応 キサントプロテイン反応 変性 酵素 基質特異性 ビニロン ポリエステル ナイロン フェノール樹脂 天然ゴム 合成ゴム	【知識・技能】 高分子と，それぞれの分類について理解することができる。 【思考・判断・表現】 分類の条件について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	20
	定期考査						0
						合計	140

年間授業計画　新様式

高等学校 令和6年度（３学年用） 教科　　理科　　科目 演習化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　演習化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（　田中　）

使用教科書：（「高等学校化学基礎」　啓林館　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的調査方法を身に付ける。

科目　演習化学基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質や物質現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質や物質が変化する現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた 結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質や物質が変化する現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 第1章　物質の構成 1節物質の成分と構成元素探究 ① 物質の成分 ② 物質の構成元素 B 2節原子の構造と元素の周期表 ① 原子の構造 ② 元素の相互関係	・空気の成分　・物質の分離 ・元素　・原子の構造 ・原子の構造　・殻について ・結合論総論	【知識・技能】 物質の構成と原子の構造について理解することができる。 【思考・判断・表現】 物質の構成と原子の構造について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	12
	C 3節物質と化学結合 ① イオンとイオン結合 ② 分子と共有結合 を理解させる	・イオンの生成　・イオン結合 ・共有契合　・分子式 ・組成式　・構造式	【知識・技能】 イオンの生成とイオン結合について理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学結合の特徴について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	D ③ 金属と金属結合 ④ 結晶の比較 E 第２章物質の変化 １節物質量と化学反応式 ① 原子量・分子量と式量 ② 物質量	・金属結合　・金属の性質 ・結合による結晶の特徴 ・原子の相対的質量　・原子量 ・分子量・式量・物質量の概念 ・物質量・質量・気体の体積の変換	【知識・技能】 金属結合と結晶について理解することができる。 【思考・判断・表現】 結晶と化学結合の性質について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	14
	F ③ 溶解と濃度 ④ 化学反応式 ⑤ 化学反応と物質量 を理解させる	・質量パーセント濃度　・モル濃度 ・質量%濃度とモル濃度の変換 ・化学反応式を書く ・反応式と物質量の関係	【知識・技能】 物質量と濃度について理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応式の量的関係ついて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
2学期	G ２節酸と塩基の反応 ① 酸と塩基 ② 水素イオン濃度 ③ 中和と塩 ④ 中和滴定 を理解させる	・酸塩基の定義・酸塩基の強弱と価数 ・水素イオン濃度　・中和反応 ・中和滴定	【知識・技能】 酸・塩基とそれぞれの法則について理解することができる。 【思考・判断・表現】 中和の条件(濃度・価数・強弱など)について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	H 酸化還元反応 ① 酸化と還元 ② 酸化数 ③ 酸化剤還元剤 を理解させる	・酸化還元の定義 ・酸化数の求め方 ・酸化剤還元剤の半反応式	【知識・技能】 酸化還元の原理と，それぞれの法則について理解することができる。 【思考・判断・表現】 酸化還元反応の量的関係について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3学期	⑤ 電池 ⑥ 電気分解 ⑦ ファラデー定数 を理解させる	・電池の仕組み ・電気分解の仕組み ・電子の流れと量的関係	【知識・技能】 電池の原理と，電気分解について理解することができる。 【思考・判断・表現】 電池と電気分解の量的関係について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	8
	期末考査						0
							合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科：　保健体育　科　目：　体育　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（1.6組：玉山・砂山・柳澤）（2・3組：玉山・砂山・鈴木）（4・７組：玉山・砂山・鈴木）（５組：玉山・砂山）

使用教科書：（「現代高等保健体育」　大修館書店　）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養っている。	運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	体ほぐし ・オリエンテーション ・体力を総合的に高める運動および今後のスポーツの基礎となる走･跳･投の各運動を行う。	・ストレッチング ・スタートダッシュ ・各種跳躍運動 ・ハンドボール投げ ・体重を使った筋力トレーニング（腕立て伏せ等）	【知識・技能】 各種の動作を行い、体の調子に気付いたり関わりあったりできた。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	バスケットボール（男女）	・ドリブル ・パス各種 (1対1、三角パス、ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾊﾟｽ) ・シュート(ｾｯﾄ･ﾚｲｱｯﾌﾟ) ・3対3 ・ゲーム	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしてゲームができた。	○	○	○	14
	卓球（前期男女展開）	・ストローク ・ドライブ、カット ・サービス ・ラリー ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	サッカー（前期男女展開）	・パス ・ドリブル ・ボールキープ ・シュート ・3対2攻防 ・ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	水泳（男女） クロール、平泳ぎのキック、ストロック、コンビネーションを再確認する。	・水中歩行 ・バタ足 ・クロールのストローク ・平泳ぎのキック ・平泳ぎのストローク ・コンビネーション	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことが出来た。 【思考・判断・表現】 選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることができた。	○	○	○	10

2学期	水泳（男女） 平泳ぎ・背泳のキック、ストローク、コンビネーションを再確認する。	・水中歩行 ・平泳ぎのキック ・平泳ぎのストローク ・背泳のキック ・背泳のストローク ・コンビネーション	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることができた。	○	○	○	10
	バドミントン（男女）	・ストローク ・クリア ・ドライブ ・サービス ・ヘアピン ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	16
	卓球（後期男女展開）	・ストローク ・ドライブ、カット ・サービス ・ラリー ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	サッカー（後期男女展開）	・パス ・ドリブル ・ボールキープ ・シュート ・3対2攻防 ・ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
3学期	バスケット/バドミントン（男女）	・ストローク ・クリア ・ドライブ ・サービス ・ヘアピン ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	14
	卓球（男女）	・ストローク ・ドライブ、カット ・サービス ・ラリー ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	サッカー（男女）	・パス ・ドリブル ・ボールキープ ・シュート ・3対2攻防 ・ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術　　科 目： 音楽Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者：（４組： 鈴村 ）（５組： 鈴村 ）

使用教科書：（ 教育出版 Tuttiプラス ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術の創造的な表現をするために必要な知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】感性や想像力を働かせて、構想を練り工夫して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】創造活動の喜びを味わい、芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組む。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な様式の音楽作品について理解を深める。 ・音楽の良さや美しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を高める。 ・読譜力を高め、音楽理論について理解を深める。	・感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を高めたり、分析的に音楽を聴いて、そのよさや価値観などを論評する。	・音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を高める。 ・我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わえる力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 独唱 【知識及び技能】 音楽を形作っている要素および音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解するとともに、曲にふさわしい発声や言葉の発音、身体の使い方などの技能を高める。 【思考力、判断力、表現力】 音楽の諸要素について、知覚したり感受したことを総合的に考え、歌唱表現に関わる知識や技能を高めたり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	①本校校歌 ②TOMORROW ③いのちの名前 ④AVE MARIA	○			○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音楽を形作っている要素および音楽に関する用語や記号について、音楽における働きとかかわらせて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために求め得られる、曲種に応じた発声、言葉の発音、身体の使い方、他者との調和を意識して歌う技能を高めている。 【思考力、判断力、表現力】 ・音楽の諸要素を知覚したり、感受したことを総合的に考え、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱表現に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B リズムアンサンブルの楽しさを味わう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫をしてリズムアンサンブルにふさわしい音楽表現ができる技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 各パートのリズムや強弱を知覚し、お互いの関わりについて考え、そこから感受したことをふまえて、表現意図を持つとともに面白さ、よさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組むことでアンサンブルの楽しさを味わう。	「クラッピング・カルテット第6番」ほか		○		○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫をしてリズムアンサンブルにふさわしい音楽表現をできる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 各パートのリズム・テンポ・強弱・反復などの関係性が重要であることを理解し、これらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、アンサンブルとして合わせることへの表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブル活動が持つ楽しさや、アンサンブル技能の向上に関心持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	C キーボードとギターのアンサンブル 【知識及び技能】 楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 ・曲のアレンジの方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・音色やコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏すべきか自分なりに考えながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アレンジすることやアンサンブルの演奏をすることに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	①Can't help falling in love ②きらきら星 ③シューベルトの子守歌 ④ひいらぎかざろう		○	○	○	【知識及び技能】 ・楽曲にふさわしい奏法などの技術を身に付けている。 ・アレンジの方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・音色のコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アレンジすることやアンサンブルの演奏をすることに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2学期	D 世界の歌、日本の歌 独唱 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさ、多様性を味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。	①Amazing grace ②Auf Flugeln des Gesanges ③Nessun doprma ④初恋	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受した箏との関わりについて考え、音楽の良さや美しさ、多様性を味わって聴いている。 【音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	E 和楽器 【知識及び技能】 日本音楽の特徴と歴史的・文化的背景について理解する。箏の基本構造や基礎知識、および取り扱い、調弦方法を理解する。様々な奏法を正しく理解し、曲に即して演奏する。 【思考力、判断力、表現力】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感受しながら美しさを味わい音楽を形作っている要素同士の関連を知覚しながら演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組む。	六段の調べ		○		○	【知識及び技能】 日本音楽の特徴と歴史的・文化的背景について理解する。箏の基本構造や基礎知識、および取り扱い、調弦方法を理解する。様々な奏法を正しく理解し、曲に即して演奏している。 【思考力、判断力、表現力】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感受しながら美しさを味わい音楽を形作っている要素同士の関連を知覚しながら演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

2学期	F　創作 【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形作っている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む。	「どじょっこ　ふなっこ」を用いた変奏		○	○	○	【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形作っている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	G　合唱 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさ、多様性を味わって聴く。 【音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。	①ほたるこい ②大きな古時計 ③この朝は		○		○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさ、多様性を味わって聴いている。 【音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3学期	H ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わり、登場人物の歌う様々なナンバーの表現形態の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、登場人物の心情を捉えて、イメージをもって歌唱表現に創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ミュージカルに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	ミュージカル映画「レ・ミゼラブル」				○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わり、登場人物の歌う様々なナンバーの表現形態の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、登場人物の心情を捉えて、イメージをもって歌唱表現に創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 生徒自身がミュージカルに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	I　ミュージカルソングの独唱と合唱 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさ、多様性を味わって聴く。 【音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。	①一日の終わり ②見果てぬ夢 ③オン・マイ・オウン ④民衆の歌	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさ、多様性を味わって聴いている。 【音楽と文化、社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
												合計 70

年間授業計画　様式

足立　高等学校 令和6年度（3学年用）教科　芸術　科目　美術Ⅱ

教 科:　芸術　科 目:　美術Ⅱ　単位数:　2　単位

対象学年組:第　3 学年　1 組～　3 組

教科担当者:（1組:　笠原　）　（2組:　笠原　）　（3組:　大橋　）

使用教科書:（　美術2（光村図書）　）

教科　芸術　の目標:

【知識及び技能】　芸術の創造的な表現をするために必要な知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　感性や想像力を働かせて、構想を練り工夫して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】　創造活動の喜びを味わい、芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組む。

科目　美術Ⅱ　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に取り組む。	感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現表法を工夫しの構想を練る。	美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	●「美術2」授業の注意 ・約束事や注意点、授業の要諦を理解する。 A「アクリル画（F10キャンバス）制作」 ・現在、17歳、18歳の自分と向き合い、キャンバスに表現したい事柄は何か、自ら探究しながら制作に取り組む。 ・身の回りのものを深く見つめ、表面的な形や色だけでなく、描く対象を深く観察し、創造的で主体的な表現を探究する。 ・心に残っている情景や自分が観て、経験して感じた事柄、印象をもとに主題をあらわす効果的な色や構図、視点、形の省略や強調など表現方法を追究する。 ・なぜ自分がその作品を描いたか、自己をみつめ、言葉で表現し、他者の考えに関心を持ち作品の見方や感じ方を深める。	・「美術2」授業の注意説明。 ・座席決め。 ・授業時の決まりと授業計画、注意点を理解する。 ・主題を生成し、形や色、構図などについて考える。 ・感じたこと考えたことを言葉でメモしてマッピングやマスの表を活用しスケッチやドローイングを行う。 ・A4用紙に鉛筆で下描きをする。 ・教科書の作品を基に作家のスケッチ、作品を鑑賞し、自らのイメージをキャンバスに下描きする。 ・着彩を行う。 ・着彩を重ね、全体と部分との調和を図る。 ・ジェッソ、モデリングペーストを使って、表現したい絵画とは何か、工夫を重ねる。 ・自分が今、表現したいものは何か追究し着彩を行う。 ・完成作品の鑑賞 ・なぜ自分がその作品を描いたか、自己をみつめ言葉で表現し、他者の考えに関心を持ち作品の見方や感じ方を深める。	○	○	○	○	【知識・技能】 ・自分が表現したい事柄を深く見つめ、表面的な形や色だけでなく、描く対象を深く観察し、自己認識力を培った創造的で主体的な表現ができる。 ・表現したい主題をあらわす効果的な色や構図、視点、形の省略や強調など表現方法を追究する。 ・主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かして創造的な表現を追究する。 【思考・判断・表現】 ・自己をみつめ、表現方法に興味をもち、自分のタッチで工夫して表現できる。 ・形や色などが感情にもたらす効果、造形的な特徴をもとに組み合わせて構成した作品をイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話を聞く姿勢ができる。 ・美術に取り組む意欲がある。 ・自分のイメージを色や形で表現するために追究する姿勢を持つことができる。 ・主体的に自分が表現した作品の創造的なよさや美しさを感じ取り、友達の作品や教科書作品の作者の意図や心情について考える姿勢を持つことができる。	○	○	○	20
2学期	B「椅子のデザインと1/10制作」 ・椅子の文化と歴史、構造を理解する。 ・椅子は身体を直接支え、生活の機能性を強く求められるプロダクトであり、人間工学とデザインとの融合を理解する。 ・座る人の人体寸法を意識しながら、椅子の使用目的を満たしたデザインを工夫し、体重を支える安全性を考えた椅子を制作する。 ・居住環境における椅子を「使う側」としての立場から「造る側」へと自らの意識の変化を身に付ける。	・教科書［座るための道具「椅子」］から、座り心地と体重を支える構造の調和を理解する。 ・使用する主な材料（しなベニア板 5.5㎜厚 300㎜×225㎜）を生かして構造を考え制作する。 ・椅子の使用者と使用目的を考える。 ・アイデアスケッチを行う。 ・三面図を制作する。 ・展開図の製図を行う。 ・材料から椅子の部品を電動のこぎりで切り出し、部品を成型する。 ・椅子を組み立て、全体に下地を塗る。 ・椅子にヤスリをかけ、全体の仕上がりを調整する。 ・着彩を行う。 ・デザイン性、機能性を確認し、微調整を行う。 ・仕上げのためのニスや、ワックスを塗り、磨く。 ・仕上げた作品を互いに鑑賞し、生活を豊かにするデザインの働きについて考え、制作を振り返る。	○	○	○	○	【知識・技能】 ・椅子は作業性のあるものから休息性ののあるものまで様々あり、それぞれをタイプ別に分類し目的に応じたデザインと構想を展開する。 ・座る人の使用目的と生活環境を考えたデザインができる。 ・椅子の安全性を考え、体重をしっかりと支えることができる構造を考えることができる。 ・木材の特性を理解する。 【思考・判断・表現】 ・椅子の発祥と文化を理解し、現代の椅子の活用方法、使用方法について考え、自ら工夫してデザインに生かすことができる。 ・木の特性を生かしたデザインを考え、構造を計画し創造することができる。 ・椅子を使用する人の座り心地を考えたデザインを工夫し、その椅子の存在がその人の生活空間の中でどのような効果をもたらすのか想像して制作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話を聞く姿勢ができる。 ・椅子の制作に取り組む意欲がある。 ・椅子など創造できないと諦めるのではなく、自らできることから思考、探究し、丁寧に心を込めて椅子を造り上げることができる。	○	○	○	30
	C「 ステンシル版画制作」 ・様々な版画の特性について理解する。 ・版画の特性を生かした表現方法を身に付ける。	・参考作品、現代アート、バンクシーの作品を元にステンシル版画を理解する。 ・アイデアスケッチを行う。 ・下描きする。 ・型を彫る。 ・黒艶ボール紙にスポンジで着彩を行い、型紙の活用方法を理解する。 ・版の特性を生かし、様々なイメージの展開を探究する。	○	○	○	○	【知識・技能】 ・凸版、凹版、孔版、平版、の構造を理解する。 ・版画の技法の特徴を知り、自分なりに工夫しながら版の表現を探究できる。 【思考・判断・表現】 ・版を活用したデザインを工夫し、材料と道具を生かした刷りと着彩が追究できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・版を生かした表現技法を探究している。 ・ステンシル版画に取り組む意欲がある。	○	○	○	18
3学期	●進路に向けた最終調整 D「個人演習」	・進路に合わせ、これまで制作した作品をファイルをまとめる。	○	○	○	○	・これまで制作した作品を振り返り、自己認識力をもち、自らを客観的に観察し、社会に適応し、協働できる自分の力とは何か探究することができる。	○	○	○	2
											合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　芸術　　科目 書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　3 組

教科担当者：　田中

使用教科書：（ 書道Ⅱ　東京書籍　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術の創造的な表現をするために必要な知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】感性や想像力を働かせて、構想を練り工夫して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】創造活動の喜びを味わい、芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組む。

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付ける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができている。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元；石鼓文 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	篆書の学習 石鼓文		○		○	【知識・技能】 篆書に基づく字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・線の太さが一定 ・縦長の字形で左右対称 ・連なる線の間は等間隔【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して作品に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	B 単元篆刻・刻字 【知識及び技能】 字形、構成等の要素と表現効果について理解させ、刻字する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて刻字する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	篆刻の学習 落款印		○		○	【知識・技能】 ・篆書の特徴を理解し、蔵鋒による用筆と字形の特徴が表現している。 ・線の太さが一定 ・縦長の字形で左右対称 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して作品に反映させている。　【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	4
	C 単元；礼器 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	隷書の学習 礼器		○		○	【知識・技能】 礼器に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・扁平な字形　・滑らかな波磔　・起筆は蔵法 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	8
	D 単元；張猛龍碑 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	楷書の学習 張猛龍碑		○		○	【知識・技能】 張猛龍碑に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・肉太な運筆　・鋭角的な三角形 ・右肩上がりの構成 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	8
2学期	E 単元；孟法師碑 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	楷書の学習 孟法師碑		○		○	【知識・技能】 孟法師碑に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・文字は扁平や方形 ・厚みのある線と大らかな字形 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。		1		12
	F 単元；集王聖教序 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	行書の学習 集王聖教序		○		○	【知識・技能】 集王聖教序に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・円筆・方筆の使い分け　・端正でリズミカルな筆致 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。				12
	G 単元；古典を生かした表現 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	書道Ⅰ、Ⅱで習った古典表現を生かす	○			○	【知識・技能】 それぞれの古典に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。				10
3学期	H 単元；高野切第一種 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解し、臨書する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	仮名の学習 高野切第一種			○	○	【知識・技能】 高野切第三種に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を一に付けている。 ・線の太細の変化 ・伸びやかな線質と自然な墨継ぎ 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	14
											合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科 外国語　　科目 英語コミュニケーションⅢ

教　科： 外国語　　科　目： 英語コミュニケーションⅢ　　単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1、3組：吉田 （ 2、4、7組：田村 ）（ 5、6組：森本 ）

使用教科書：（ BIG DIPPER English Communication Ⅲ 数研出版 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 英語でコミュニケーション及び表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】 異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な出来事を、基本的な語句を用いて伝え合う技能を身につける。会話している相手の言う内容も正確に理解する力を養う。	身につけた知識・技能を活用し、身近な出来事や自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように表現する力を養う。 相手の質問を正確に理解し適切に答える力を養う。	自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとする力を養う。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、相槌をうちながら、聞き返したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話「やり」	話「発」	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A Lesson1-4 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容（代替肉の利点・欠点等）について，自分の意見を話す／書くことができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	15
	B Lesson15 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○				○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	C Lesson5-8 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容（植物の生存戦略）について，自分の意見を書くことができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	15
	D Lesson16 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○				○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
2学期	E Lesson9-14 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容（日本と海外の温泉地の違い等）について，自分の意見を話す／書くことができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	25
	定期考査								○	○		1
	F Lesson17-18 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容に関連した話題について聞き取ることができ，その内容について話し合い，書き，発表することができる。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	25
	定期考査								○	○		1
3学期	G Lesson19-20 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○			【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	25
	定期考査								○	○		1
											合計	140

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　外国語　　科目　論理・表現Ⅲ

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅲ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　7 組

教科担当者：（１組～３組：森本）　（４組～７組：吉田）

使用教科書：（ APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅲ　開隆堂　　）

教科　外国語　　の目標：　英語でのコミュニケーションや表現活動を主体的に、効果的に行えるスキルと知識を身につける。

【 知　識　及　び　技　能 】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語でコミュニケーション及び表現活動を行うための思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目　論理・表現Ⅲ　　の目標：　英語でのコミュニケーションや表現活動を主体的に、効果的に行えるスキルと知識を身につける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
4技能を活用した英語によるコミュニケーションを行うための知識やスキルを育成する。	情報を整理し、目的や場面、状況に応じて、論理的に適切な英語で表現できる力を身に付ける。	様々な人とペアワークを行うことで、多様性への享受力を高めていくとともに、協働的に学びを進められる力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話（やり）	話（発）	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A Lesson 1 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・予定/意図/確信/希望・願望 ・好き・嫌い/得意・不得意/個人的感想 これと並行して、「時制」「受動態」について、副教材「Engage」、「Basic Training Book」で演習する。自習課題として「APPLAUSE WORKBOOK」及び「ターゲット英熟語1000」に取り組む。	○	○			○	【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	8
	B Lesson 2 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。		○	○			○		○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○	○	1
	C Lesson 3 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・提案・助言/必要性・義務/勧誘/受諾・辞退 ・依頼・要請/許可 これと並行して、「仮定法」「不定詞」について、副教材「Engage」、「Basic Training Book」で演習する。自習課題として「APPLAUSE WORKBOOK」及び「ターゲット英熟語1000」に取り組む。	○	○			○	【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	8
	D Lesson 4 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。		○	○			○		○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	E Lesson 5・6 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・感謝/祝福・喜び/同情/心配・懸念 ・苦情/謝罪/譲歩 これと並行して、「動名詞」「分詞」「関係詞」について、副教材「Engage」、「Basic Training Book」で演習する。自習課題として「APPLAUSE WORKBOOK」及び「ターゲット英熟語1000」に取り組む。	○	○			○	【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	15
	定期考査			○			○		○	○		1
	F Lesson 7・8 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・時間的順序/空間的配列・方向/数量（比較）/方法・様態 ・描写・説明 これと並行して、「動名詞」「分詞」「関係詞」について、副教材「Engage」、「Basic Training Book」で演習する。自習課題として「APPLAUSE WORKBOOK」及び「ターゲット英熟語1000」に取り組む。	○	○			○	【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査			○			○		○	○	○	1
3学期	G Lesson 9 【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・Paragraph Writing これと並行して、「接続詞」「主語と動詞」について、副教材「Engage」、「Basic Training Book」で演習する。自習課題として「APPLAUSE WORKBOOK」及び「ターゲット英熟語1000」に取り組む。	○	○			○	【知識及び技能】 取扱う表現の構造及び機能について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1
											合計	70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　外国語　　科目　演習英語コミュニケーションⅢ

教　科：　外国語　　科　目：　演習英語コミュニケーションⅢ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　組～　　組

教科担当者：（　森本　）

使用教科書：（ Transfer コースD　桐原書店　　）

教科　外国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語でコミュニケーション及び表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目　演習英語コミュニケーションⅢ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な出来事を、基本的な語句を用いて伝え合う技能を身につける。会話している相手の言う内容も正確に理解する力を養う。	身につけた知識・技能を活用し、身近な出来事や自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように表現する力を養う。 相手からの質問を正確に理解し適切に答える力を養う。	自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとする力を養う。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相槌をうちながら、聞き返したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話「やり」	話「発」	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A Lesson1-2 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	7
	A Lesson3-4 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○		○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	A Lesson5-6 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	8
	A Lesson7-8 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○		○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
2学期	A Lesson9-10 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	A Lesson11-12 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
3学期	A Lesson13-14 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度を育む。	・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。 ・本文のパラグラフ構成を把握することができる。	○	○	○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，Tips for Readingを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文に関する英文を聞き取り，本文に合致する内容かどうか判断しようとする態度が見られる。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1
											合計	70